

【第39回】労務需給調査（建築・設備工事）

2026年5月調査

【調査概要】

- 調査の目的
 - ・全国11都市（札幌・仙台・東京・新潟・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・那覇）における総合工事業者の工事受注状況および工種別労務需給状況を把握することを目的としている。
- 調査対象業者
 - ・対象都市において、元請として工事を受注している総合工事業者、延べ約410社を選定。
- 調査時期
 - ・2026年4月中旬～5月中旬。

● 調査方法

- ・書面調査。所定の項目に対して、回答者が以下のような5段階で評価・判断して記入する。
- ・工事受注状況
 - 1:減少 2:やや減少 3:不変 4:やや増加 5:増加
- ・工種別労務需給状況
 - 1:緩和 2:やや緩和 3:均衡 4:やや逼迫 5:逼迫
- 集計方法
 - ・工事受注状況および工種別労務需給状況について、対象都市（全国11都市）ごとの単純平均により代表値（小数第3位を四捨五入）を算出した上でグラフ化する。

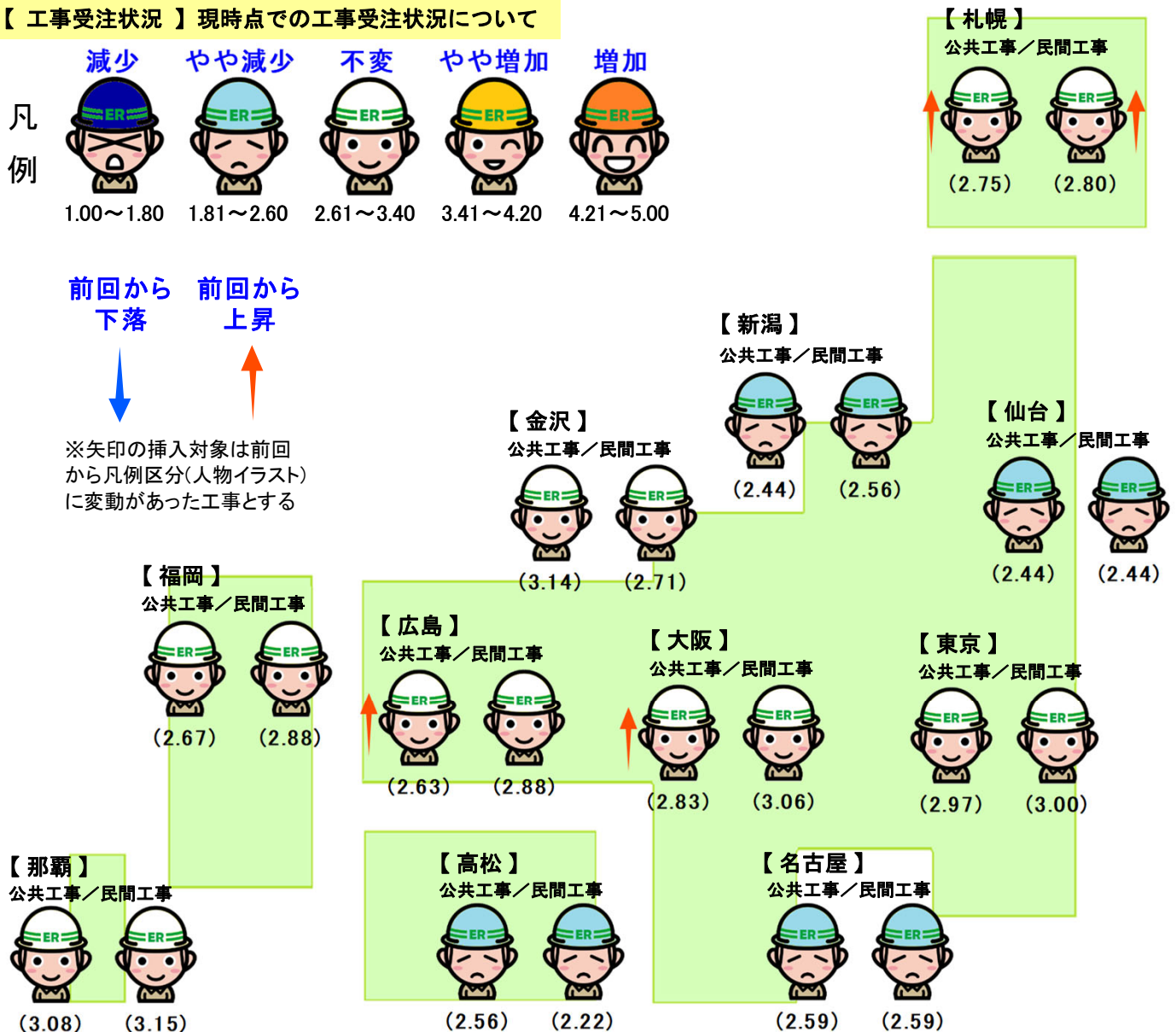
【工事受注状況】現時点での工事受注状況について



前回から
下落

前回から
上昇

※矢印の挿入対象は前回から凡例区分(人物イラスト)に変動があった工事とする



	全国	札幌	仙台	東京	新潟	金沢	名古屋	大阪	広島	高松	福岡	那覇
発送	414	45	45	61	23	17	44	51	28	30	38	32
回収	204	25	21	33	10	8	26	23	10	15	19	14
回収率	49.3%	55.6%	46.7%	54.1%	43.5%	47.1%	59.1%	45.1%	35.7%	50.0%	50.0%	43.8%

I. 【工事受注状況】現時点での工事受注状況について

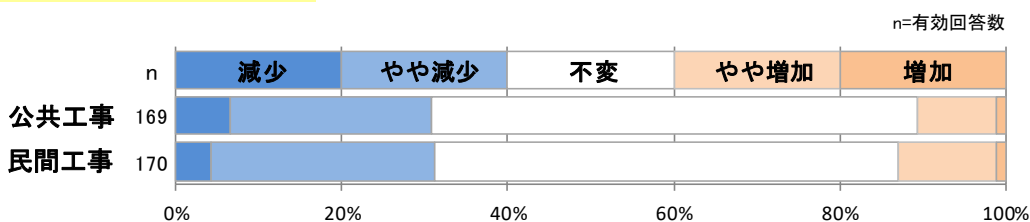
『公共工事』『民間工事』



(2.75)

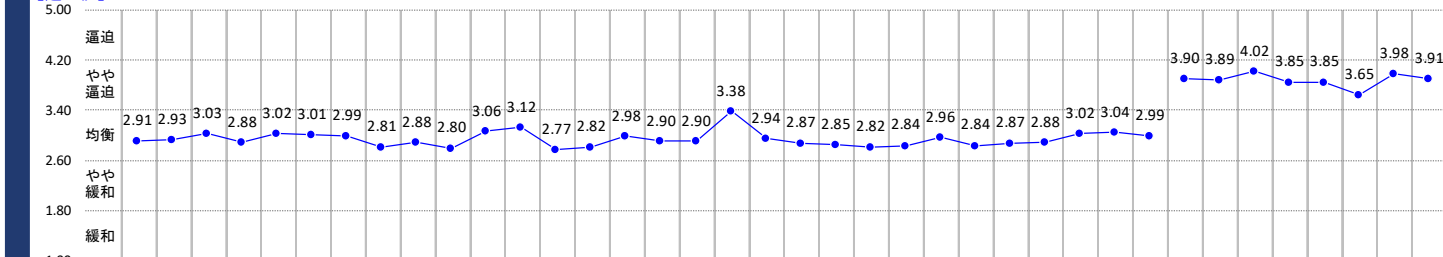


(2.79)

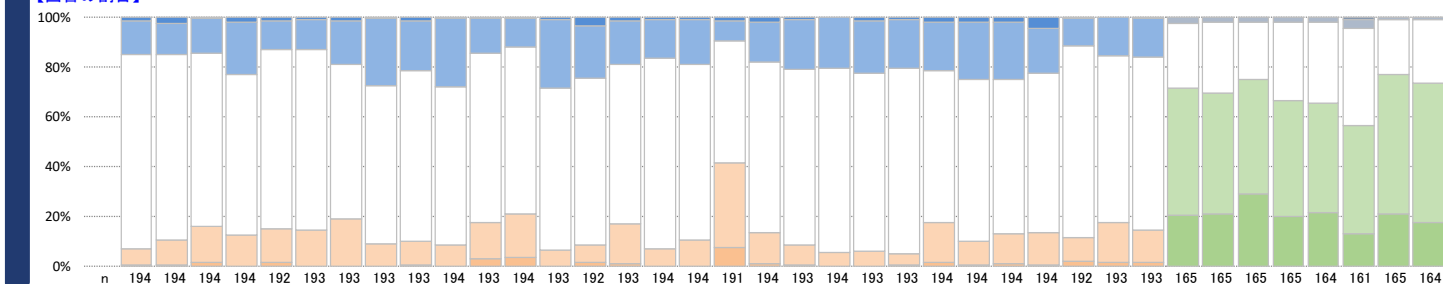


II. 【工種別労務需給状況】現状の労務需給および3カ月後の見通しについて

【逼迫値】

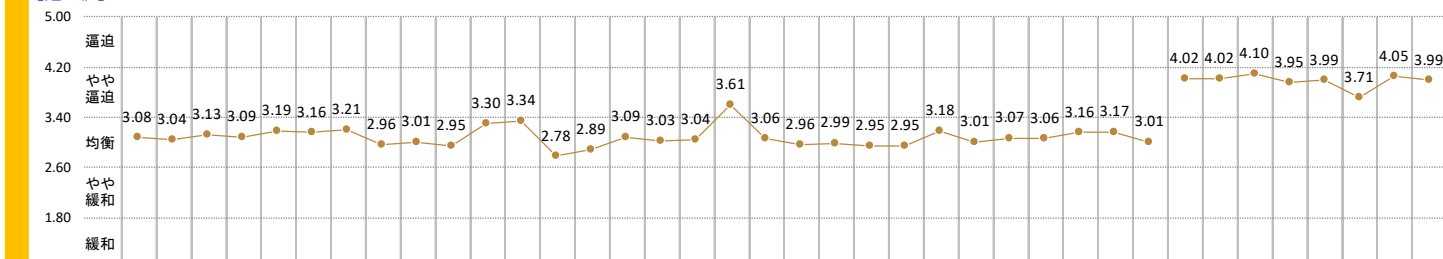


【回答の割合】

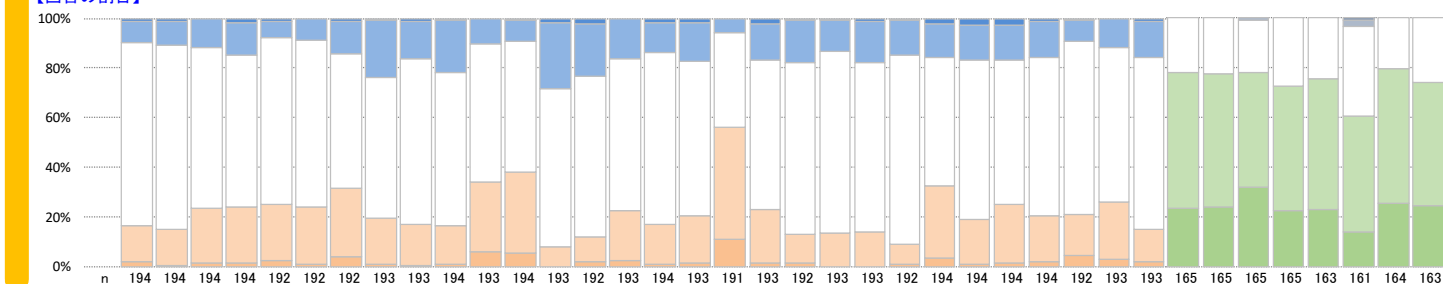


直接仮設工事	土工事	地業工事	鉄筋工事	CON工事（打設手間）	CON工事（ポンプ圧送）	型枠工事	鉄骨工事	耐火被覆工事	ALC・ECP工事	防水工事	シーリング工事	石工事	タイル工事	木工事	屋根及びとい工事	金属工事	左官工事	吹付工事	木製建具工事	金属製建具工事	シャッター工事	ガラス工事	塗装工事	軽量鉄骨下地工事	内装ボード工事	内装床工事	仕上ユニット工事	外構工事	解体工事	配管工事	給排水衛生設備工事	消火設備工事	保温工事	ダクト設備工事	昇降機設備工事	電気設備工事	通信・情報設備工事
--------	-----	------	------	-------------	--------------	------	------	--------	-----------	------	---------	-----	-------	-----	----------	------	------	------	--------	---------	---------	-------	------	----------	---------	-------	----------	------	------	------	-----------	--------	------	---------	---------	--------	-----------

【逼迫値】



【回答の割合】



【凡例】建築工事	緩和	やや緩和	均衡	やや逼迫	逼迫
設備工事	緩和	やや緩和	均衡	やや逼迫	逼迫